

50歳まで未婚男性23%

女性14%、最高更新

15年全国調査

50歳まで一度も結婚をしたことのない人の割合を示す「生涯未婚率」は2015年に男性23・37%、女性14・06%だった。

たことが4日、厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所の調査で分かった。10年の前回調査より男女とも3割超伸びて過去最高を更新した。

生涯未婚の人は男性のほぼ4人に1人、女性のほぼ7人に1人となり「結婚離れ」が鮮明になった。

【4面に表層深層】

人生の選択が多様化する一方、非正規労働者が約4割に増え金銭的な理由で結婚をためらう人も多く、少子化の流れに歯止めはかかりそうにない。非正規の処遇改善など結婚を後押しする対策が急がれる。老後に身寄りがない人が増えるため、介護や医療など受け皿も課題になりそうだ。

上に増加。15年は10年に比べ、男性は3・23割（10年は20・14%）、女性は3・45割（同10・61%）それぞれ伸びた。

同研究所が昨年公表した別の調査では、18〜34歳の未婚者のうち「いずれは結婚したい」と考えている人は男性86%、女性89%を占め、結婚したい人の割合は高水準だが、ハードルとして「結婚資金」を挙げる人が最も多く、男女ともに40%を超えている。非正規雇用の割合が約4割に達し、雇用の不安定化が進んでいることが結婚を難しくする一因となっている。

生涯未婚率は国勢調査を基に5年に1回公表される。1970年には男性1・7%、女性3・33%だったが、右肩

順だった。福井は男性19・19

%、女性8・66%